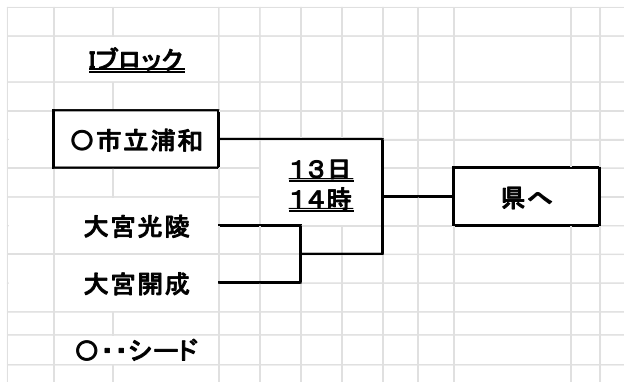


好学尚武

春季（南部）地区大会の組み合わせ

3日（金）抽選会が行われました。

市高からは鈴木蒼・大戸が参加し、春季南部地区大会の組み合わせが決定しました（10日開幕）。



市高の試合は、

13日（月）14時～

市営浦和球場（1塁側）

大宮光陵高校 対 大宮開成高校
の勝者と

年度当初のお忙しい時期ですが、
応援等よろしくお願い致します。

練習試合の結果

4月1日（水）対日比谷高校

日比谷高校が都大会当日に
なってしまったため、中止

4月2日（木）対厚木高校

雨のため中止

通算成績 5勝 4敗 3分

徳栄から学ぶ

花咲徳栄高校（以下、徳栄）が埼玉県代表として選抜大会に出場し、全国8強、立派な戦いを繰り広げてくれました。勉強させていただいたことを簡単にまとめます。

対東洋大姫路高校戦

バッティングは水物、本当にその通りで、まったく打てなかったり、良い当たりがごとごとく相手守備の正面についたりすることがあります。そんな状況の中、打つことだけではなくどのように勝利へ近づくか・・徳栄高校の作戦は1死満塁、カウントフルカウントという状況からのエンドラン、ショートゴロで2点をとるというものでした。

対日本文理高校戦

このグラウンド状況で試合をするか？というような感じでした（雨）。私も学校隣球場の主任なのでよく分かっていますが、試合というのは始めてしまうとなかなか止めづらいものなのです。そんな中、徳栄は晴天時と同じ守備を披露しました。とても勉強になりました。

対智弁学園高校戦

序盤の大量リード、両校の差がそんなになくても高校野球ではこういうことが起こります。そんな時、リードされた方にも必ず1度はチャンスが来ます。そこでどのような攻撃をするか・・リードされた点数を一気に取ろうとするのか（基本無理）、（まだ序盤なので）コツコツ1点ずつ返す姿勢を見せるのか、この日は相手・智弁学園高校に大逆転を喰らいましたが、昨秋の関東大会（対法政二高戦）では徳栄が0対9をひっくり返しています。（徳栄や智弁学園のように）最後まで諦めずコツコツ返すチームを目指したいと思います。

それにしても・・全国大会のレベルが上がり過ぎではないでしょうか（特に投手）。普通高校のレベルは上がっていない（むしろ落ちている）のに、上位の高校はプロのレベルに近づいている感じがします。

正直、気持ちは複雑です。